

出典:令和2年度住民アンケート調査結果(生駒市)

		【参考資料】	
	公共交通に関する主な意見 (R元年度アンケート調査・R2年度自治会長ヒアリング結果)		
高山	傍示	路線パスは便数が少なく、最終便も早いため、通動・通学で利用しづらく、家族の送迎や自転車利用となる。道が細いのでパスは入りづらく、買い物は宅配利用が現実的である。	
"	獅子が丘	路線パスはパス停まで遠い(町内→傍示南パス停)、最終便が早い(学研北生駒駅からの最終便18:49)、高額であることから、家族や近隣の方、老人ホームのパスでの移動となる。 マイカーが乗れないと都市部に移住する人もいる。 理想はコミュニティパスの導入だが、他にも良業があればと思う。 平日もパスを運行してほしい。	
"	庄田	路線パスは便数が少なく(特に日中)、最終便が早い。また高額なため利用していない。 パス停まで遠い。目的地(e.g. 生駒市民病院)までの乗換が多い。 マイウー利用や高校生などは自転車で駅まで行っている。 近隣の方の送迎やタクシー利用も考えられるが、コミュニティパスがあればありがたい。行政サービスに差があることに疑問 がある。民間企業とのタイアップなども考えて欲しい。	
"	大北	路線パスは便数が少なく、バス停までの歩道も良くない。家族による送迎や自転車で駅まで行っている。収益性を考えると難しいが、コミュニティバスのようなもので、使いたい時に使えるシステムがあればと思う。 運賃が高い。	
"	宮方	路線バスは運賃が高く、便数も少ない。最終便も早いので、駅までは車での送迎や自転車、徒歩で移動している。 バス停まで速い。 高齢になると自宅前までのサービスが必要なので、コミュニティバスで地区内を回ることより、タクシーなどの小回りの利く 手段が必要である。本当に移動が困難に人に限ったタクシー利用券や電動カートなどの補助が良いと思う。	
"	久保	路線パスは便数が少なく、最終便も早いので、家族の送迎や自転車利用となる。買物は宅配サービスを利用している人もいる。近商ストアが移動スーパーを計画しており、当地区でもお願いをした。乗合タクシーだと利用があるのではないか。 北地区にはコミュニティバスがないので不平等感はある。	
"	芝	路線パスは便数がもう少し増えると良いが、駅まで比較的近いので徒歩や自転車で移動できる。買物や病院はパスや家族の送 迎、タクシー、徒歩など様々。コミュニティバスやタクシー券。	

今後の公共交通サービスの提供に係る対応方針		
R2年度住民アン ケート結果より 得られた知見	○駅行きのバス連行本数が少ないことで、駅までの移動が不便である。 ○家からバス停まで遠いため、路線バスを利用しないことが多い。 ○車で送迎してくれる人がいないことで、外出をあきらめることが多い。 ○新たな公共交通サービスを必要とする声が多い。	
現状	<ul><li>○地区が広く道幅も狭いため、定時定路線のバス系は収支や網羅性の面で厳しい。</li><li>○買物は宅配や近商ストアーの移動スーパー(久保・芝・宮方)で賄って頂くことがある程度可能である。</li><li>○鉄道駅まで距離があり、通院のほか、家族送迎に依存する通学や習い事の需要がある。</li></ul>	
公共交通 サービスの案	⇒A案:必要な手段を確保する観点で、デマンド型乗合タクシーを検討する。 ⇒B案:加えて、地域との話し合いのもと、助け合い輸送の可能性及び仕組みづくり(市の支援策含む)を検討する。	

買物の荷物などが重いから

体力が落ちてきたから 33.3

#### 令和2年度住民アンケートにおける主な結果 買い物 主な買い物先(上位3箇所) 主な移動手段(上位3つ) 移動が不便と感じる割合 生駒市全体 との比較 自動車(自分で運転) 83. 3 万代生駒店 33.3 -7.9 菜畑地区 近鉄百貨店生駒店 たけまる号 16.7 近商ストア新生駒店 (%) 徒歩 0.0 (%) (%) 主な通院先(上位3箇所) 主な移動手段(上位3つ) 移動が不便と感じる割合 生駒市全体 自動車(自分で運転) 近畿大学奈良病院 25.0 との比較 菜畑地区 25.0 +2.1阪奈中央病院 25.0 バイク 22.2 (%) 倉病院 12.5 鉄道 11.1 (%) (%) 駅までの移動で不便な点 生駒市全体 外出をあきらめた割合 との比較 生駒市全体 自宅から駅行のバス停まで遠い 33. 3 +19.7との比較 自宅から駅行きのバス停までの坂道が急 25.0 +18.0+7.423.1 菜畑地区 (%) 駅行きのバス運行本数が少ない 25.0 +19.3外出をあきらめた理由 駅行きのバスが運行してない 8.3 (%) +4.2 生駒市全体 との比較 +39.5天候のため 66.7 路線バスの利用 路線バスを利用しない理由(上位3つ) 身体的な事情のため 33. 3 +18.9生駒市全体 との比較 車で送迎してくれる人がいなかった 0.0 -12.6+14.7家からバス停まで歩くことが大変だから 利用できる公共交通手段がなかった 0.0 (%) -3.7 +14.3早朝に運行していないから 20.0 深夜に運行していないから 20.0 (%) +12.5 新たな公共交通サービスの導入が 早急/将来的に必要であると感じる割合 バス停まで歩くのが大変な理由(上位3つ) 生駒市全体 N=3 との比較 生駒市全体 家からバス停まで遠いから 100.0 + 22.9との比較

+44.8

(%) +4.2

菜畑地区

出典:令和2年度住民アンケート調査結果(生駒市)

(%)

69.2

令和3年度 第2回協議会 【参考資料】

	公共交通に関する主な意見		
	(R元年度アンケート調査・R2年度自治会長ヒアリング結果)		
菜畑	門前線の最寄りバス停までは距離があり道も良くない。徒歩やタクシー自家用車(送迎含む)での移動となる。是非ともコミュニティバスが必要。		

今後の公共交通サービスの提供に係る対応方針		
ケート結果より	○家からバス停まで遠く、坂道が急であり、バス運行本数が少ないことで、駅までの移動が不便である。 ○外出をあきらめたことのある住民が多い。 ○新たな公共交通サービスを必要とする声が多い。	
現状	○地区は広いが、人口はあまり多くないため、地形的な面も含めて定時定路線のバス系は収支や網羅性の面で厳しい。(但し、コミュニティバスの要望はある。) ○鉄道駅まで距離があり、適院のほか、家族送迎に依存する通学や習い事の需要がある。	
公共交通 サービスの案	→A案:単独でのコミュニティバスの導入はハードルが高いことから、他地区のコミュニティバスの再編を含めて特定曜日 (例、火曜・木曜)の導入検討を行う。 →B案:必要な手段を確保する観点で、デマンド型乗合タクシーを検討する。 →C案:地域との話し合いのもと、助け合い輸送の可能性及び仕組みづくりを検討する。	

+19.6

家からバス停まで坂道が急だから 33.3

#### 北田原地区 令和2年度住民アンケートにおける主な結果 買い物 主な買い物先(上位3箇所) 主な移動手段(上位3つ) 移動が不便と感じる割合 生駒市全体 との比較 自動車(自分で運転) 近商ストア白庭台店 31.1 +9.9北田原地区 オークワ生駒上町店 16.7 路線バス 11.4 自動車 (家族等が運転) 6.3 近鉄百貨店生駒店 5.6 (%) (%) (%) 主な通院先(上位3箇所) 主な移動手段(上位3つ) 移動が不便と感じる割合 N=61 N=61 生駒市全体 自動車(自分で運転) マツオメデ゛ィカルクリニック 13.1 との比較 北田原地区 31.2 +8.3白庭病院 9.8 自動車(家族等が運転) 10.9 近畿大学奈良病院 8.2 路線バス 10.9 (%) (%) (%) 駅までの移動で不便な点 生駒市全体 外出をあきらめた割合 との比較 生駒市全体 駅行きのバス運行本数が少ない 56.2 +42.6との比較 自宅から駅行のバス停まで遠い 14.6 +7.619.1 +3.4北田原地区 (%) 自宅から駅行きのバス停までの坂道が急 6.7 +1.0外出をあきらめた理由 駅行きのバスが運行してない 0.0 (%) **-4.2** 生駒市全体 との比較 車で送迎してくれる人がいなかった +20.733.3 路線バスの利用 路線バスを利用しない理由(上位3つ) 天候のため -3.4 生駒市全体 との比較 身体的な事情のため 19.1 +4.6+29.7家からバス停まで歩くことが大変だから 利用できる公共交通手段がなかった 4.8 (%) +1.0-25.5目的地周辺にバス停がないから 0.0 時刻通りに運行していないから 0.0 (%) -1.4 新たな公共交通サービスの導入が 早急/将来的に必要であると感じる割合 バス停まで歩くのが大変な理由(上位3つ) 生駒市全体 N=3 との比較 生駒市全体 体力が落ちてきたから +37.5との比較 家からバス停まで遠いから -43.8 北田原地区 57.3 +7.6

(%) **-1.1** 

出典:令和2年度住民アンケート調査結果(生駒市)

(%)

	公共交通に関する主な意見 (R元年度アンケート調査・R2年度自治会長ヒアリング結果)	
北田原	通学での路線パスの利用はあるが便数が少ないことには違いなく、買い物や通院など、自動車がないと生活ができない。費用 対効果を考えると難しいかもしれないが、買い物パスなど利便性の良いサービスを示してもらえれば、その中から利用できそ うなものを選べるかも知れない。	

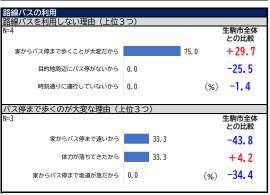
	今後の公共交通サービスの提供に係る対応方針		
ケート結果より	○駅行きのバス運行本数が少ないことで、駅までの移動が不便である。 ○体力的に家からバス停まで歩くことが大変であるため、路線パスを利用しないことが多い。 ○車で送迎してくれる人がいないことで、外出をあきらめることが多い。		
現状	<ul><li>○地区が広く道幅も狭いため、定時定路線のバス系は収支や網羅性の面で厳しい。</li><li>○鉄道駅まで距離があり、買い物や通院を支援する必要がある。</li></ul>		
公共交通 サービスの案	⇒A案: デマンド型乗合タクシーを検討する。 ⇒B案: 工業団地内事業者の社員送迎用車両の昼間時利用の可能性を検討する。 ⇒C案:地域との話し合いのもと、助け合い輸送の可能性及び仕組みづくりを検討する。		

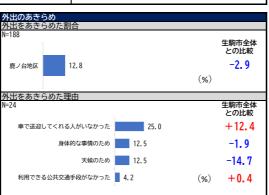
### 鹿ノ台地区











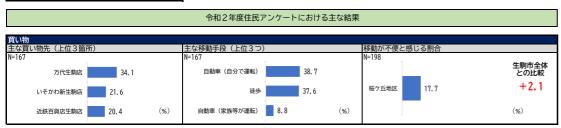


出典:令和2年度住民アンケート調査結果(生駒市)

公共交通に関する主な意見 (R元年度アンケート調査・R2年度自治会長ヒアリング結果)		
	(パル中後アプソート制度・化中後日心云反にアソフソ和木)	
鹿ノ台	バス停までの歩行が難しいため、既存のバス停と自宅の間に停留所を設置してほしい。	

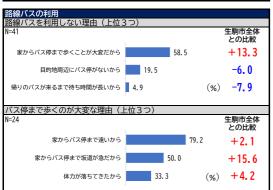
今後の公共交通サービスの提供に係る対応方針		
ケート結果より	○家からバス停まで歩くことが大変であるため、路線バスを利用しないことが多い。 ○車で送迎してくれる人がいないことで、外出をあきらめることが多い。 ○新たな公共交通サービスを必要とする声が多い。	
現状	<ul><li>○路線パスは地区内の中心を運行している。</li><li>○路線パスが運行している街路から離れたエリアでも、多くの人が居住しており、定時定路線のバス系での対応も可能である。</li></ul>	
公共交通 サービスの案	※鹿ノ台ぐるぐるバスを別途検討中	

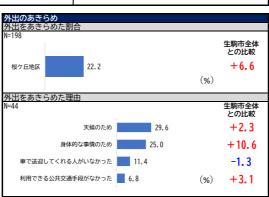
### 桜ケ丘地区













出典:令和2年度住民アンケート調査結果(生駒市)

		25 55(1)
		公共交通に関する主な意見
		(R元年度アンケート調査・R2年度自治会長ヒアリング結果)
桜	ケ丘	鉄道もパスも少し距離がある。坂道なのでコミュニティパスの様なものがあれば良い。自治会費での負担もできるかも知れない。

	今後の公共交通サービスの提供に係る対応方針		
R2年度住民アン ケート結果より 得られた知見	○駅行きのバスが運行していないため、駅までの移動が不便である。 ○家からバス停まで遠く、坂道が急であるため、路線バスを利用しないことが多い。 ○外出をあきらめたことのある住民が多い。 ○新たな公共交通サービスを必要とする声が多い。		
現状	<ul><li>○直線距離では生駒駅まで比較的近いが、道幅が狭く、坂道が多い。(但し、道路の整備計画あり。)</li><li>○自治会で費用負担をしてもらえる可能性がある。</li></ul>		
公共交通 サービスの案	地形や道路形態から地区内を網羅的にカバーすることは難しいため、少なくとも、「地区内起点〜スーパー(万代 生駒店)〜 生駒駅」を結ぶ経路を確保する。(可能であれば、ピストン経路とすることで選行頻度を高める。) →A案:コミュニティバスを前提とした経路調査(物理的な通行可能性)の上、可能性がある場合は収支シミュレーションを行う。 ⇒B案:A案について、より小さな車両である、グリーンスローモビリティの可能性を検討する		

買物の荷物などが重いから 0.0

### 真弓地区 令和2年度住民アンケートにおける主な結果 買い物 主な買い物先(上位3箇所) 主な移動手段(上位3つ) 移動が不便と感じる割合 生駒市全体 との比較 自動車(自分で運転) スーパーヤオヒコ北大和店 24.2 +1.0真弓地区 オークワ生駒上町店 18.2 自動車(家族等が運転) 14.0 徒歩 11.2 イオンモール奈良登美ヶ丘 10.1 (%) (%) (%) 主な通院先 (上位3箇所) 主な移動手段(上位3つ) 移動が不便と感じる割合 N=127 N=127 生駒市全体 自動車(自分で運転) 白庭病院 3.2 との比較 真弓地区 22.8 -0.1 近畿大学奈良病院 1.6 (%) 阪奈中央病院 1.6 自動車(家族等が運転) 15.4 (%) (%) 駅までの移動で不便な点 生駒市全体 外出をあきらめた割合 との比較 生駒市全体 自宅から駅行きのバス停までの坂道が急 6.7 -6.9との比較 自宅から駅行のバス停まで遠い 4.8 -0.9 -2.2 (%) 駅行きのバス運行本数が少ない 4.8 -0.9外出をあきらめた理由 駅行きのバスが運行してない 1.0 (%) **-3.2** 生駒市全体 との比較 +12.2天候のため 39.4 路線バスの利用 路線バスを利用しない理由(上位3つ) 車で送迎してくれる人がいなかった 6.1 -6.6 生駒市全体 との比較 身体的な事情のため 6.1 -8.4 +58.7ルートや時刻表がよくわからないから 利用できる公共交通手段がなかった 0.0 (%) -3.7 -12.0家からバス停まで歩くことが大変だから 帰りのバスが来るまで待ち時間が長いから (%) + 20.6バス停まで歩くのが大変な理由(上位3つ) 新たな公共交通サービスの導入が 早急/将来的に必要であると感じる割合 生駒市全体 との比較 生駒市全体 家からバス停まで遠いから 100.0 + 22.9との比較 家からバス停まで坂道が急だから 真弓地区 100.0 + 65.650.0 +0.4

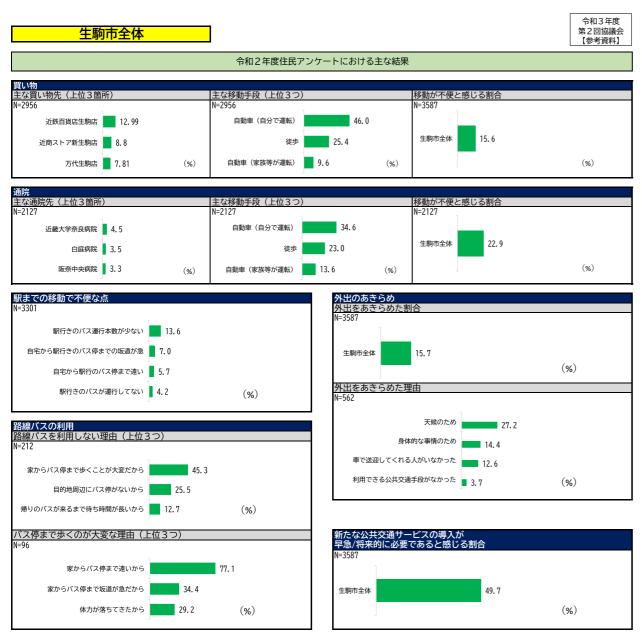
(%) **-21.9** 

出典:令和2年度住民アンケート調査結果(生駒市)

(%)

	12 011111		
	公共交通に関する主な意見 (R元年度アンケート調査・R2年度自治会長ヒアリング結果)		
真弓	1丁目	自家用車での移動が多い。 呼べば来てくれるタクシーサービスが良い。コミュニティバスでは使わないのではないか。 電車の運行関隔(特に昼間時間)の短縮。 学研北生駒駅を中心とした、真弓・真弓南・北大和を循環するバスがあれば利用する人もいると考える。	
<i>"</i>	2丁目	学園前行きバスが減便になったこともあり、自家用車移動が多い。駅まで徒歩や自転車で行く人もいる。 タクシーが利用しやすくなると良い。路線バスがなくなるようだとコミュニティバスが必要だが、住宅地内にバス停が必要 で、生駒駅まで運行して欲しい。高齢者の無料化や割引があると良い。 学習、行事、スポーツ等に参加しやすいような公共交通のサーボスを検討してほしい。	
"	3丁目	個人的に路線パスに不便は感じないが、利用者が減って減便となる不便になるかも知れない。徒歩や自転車が利用できるひとは駅まで行けるが、困難な人は家族による送迎となる。パスよりはタクシーの方が使い勝手は良いので、何らかの補助があると利用しやすい。	
"	4丁目	路線パスが使いにくいとは聞いていない。駅まではパスか徒歩、又は家族による送迎となる。将来のことを考えると、タクシー補助のようなものがあれと良い。	

	今後の公共交通サービスの提供に係る対応方針		
R2年度住民アン ケート結果より 得られた知見	○運行ルートやダイヤが分からず、家からバス停まで遠く、坂道が急であるため、路線バスを利用しないことが多い。		
現状	<ul><li>○駅に近い町丁と駅から遠い町丁があり、幹線には路線バスが運行されている。</li><li>○定時定路線のバス系よりはタクシー系の方が適正が高い。</li></ul>		
公共交通 サービスの案	⇒A案:デマンド型乗合タクシーを検討する。 ⇒B案:A案の比較対象として、鹿ノ白ぐるぐるバス方式を検討する。(幹線は路線バスが運行し、地区内はコミュニティバス が運行する。北生駒駅まで運行させることで、幹線の路線バスと重複する場合は重複区間の運行経費は地元で負担する。)		



出典:令和2年度住民アンケート調査結果(生駒市)